

2018 - 19年度 RI テーマ



インスピレーションになるう

Rotary International
国際ロータリー会長
バリー・ラシン



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

新しく生まれ変わろう
ークラブネッサンス

第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY CLUB
●創 立：1973年2月23日
●会 長：品川 芳洋
●幹 事：堀内 伸也
●会報委員長：高岡 正和

今週のプログラム

第2193回例会

- ① 開会 点鐘
- ② ソング 「君が代」「四つのテスト」
- ③ ビジターの紹介
- ④ 会員及び会員夫人誕生月祝
森下会員、大橋夫人
- ⑤ 会員結婚記念日祝 高橋会員、山田会員
- ⑥ 会務報告
「会長の時間」「幹事報告」
- ⑦ 委員会報告
「出席報告」「各委員会」「ニコニコ報告」
- ⑧ 卓話 「超高齢社会の問題と今後の国の政策」
浅井 寿徳会員
- ⑨ 閉会 点鐘

* 例会前：9月度定例理事会

* 9/8(土) 2018-2019年度

クラブ社会奉仕委員長会議

於：大阪社会福祉会館

受付 9:30~ 会議 10:00~12:00

中澤 剛社会奉仕委員長 出席予定

来週の予定

第2194回例会 9月14日(金)

☆「ロータリーの友」紹介

浅井 寿徳広報・雑誌委員長

☆卓話「なぜロータリーの友を読むのか」

ロータリーの友 地区代表委員(大阪南RC)

木村 芳樹氏

前週の例会記録

2018年8月31日(金)

出席報告

例会数	会員数	出席数	出席率	備 考
第2192回	27名	11名	52.4%	出席義務免除 7名(出1)
第2190回	27名	15名	71.4%	補 填 1名

ニコニコ箱

- 上田さん、卓話楽しみです。 奥田 長二会員
- 先週欠席のおわび。 森下 慶治会員
- 上田さん、卓話よろしくお願ひします。
しょう。 長尾 穰治会員
- 8月も最終例会となりましたが、もう少しで涼しく
なると思います。皆様、体調管理に気を配って下
さい。 石川 義一会員

●今回合計 1,000円

●累計 196,000円

★例会場：八尾市生涯学習センター<かがやき> 〒581-0833 大阪府八尾市旭ヶ丘5-85-16 TEL:072(924)3876

★例会日時：毎週金曜日13時30分

★事務所：〒581-0803 大阪府八尾市光町2丁目60番 LINOAS(リノアス)8階 TEL:072(997)0626 Fax:072(997)2620

★http://www.yaohigashi.org/ E-mail:yaohigashi@japan.email.ne.jp

会長の時間

8月もいよいよ最終日を迎えます。この夏は連日の酷暑に加え各地で自然災害に見舞われ多くの被害が出ました。

自然の脅威に畏れをいただいた中であって、ひとりの人間の行動が日本中に感動を呼びました。それは、8月12日、山口県で、家族の不注意により行方が分からなくなった2歳の男の子を、警察や消防が140人体制で捜索したにもかかわらず、見つからなかったのを行方不明から3日目、地元の大分県から自家用車で駆けつけるや、わずか30分で見つけた“スーパーボランティア”、尾畠春夫さん(78)のことです。奇跡的な発見劇に驚いただけでなく、謝礼の類を一切受け取らず淡々と発見について語る姿が称賛の感動を呼びました。私などは下衆の勘繰りで、家内に「あんなような場合、発見された子供の親はいくらぐらいの謝礼をするんだろう？少なくとも2～3百万は包まねばならないんだろうな」と言ったところ、家内は「何をつまらないことを言っているの！あの方はそんなのを受け取るような方じゃないわよ！」と叱られました。

事実、その通りでした。

尾畑さんが大切にされている言葉、「かけた情けは水に流せ、受けた恩は石に刻め」。

正に金言ですね。

幹事報告

【配布物】

- ①週報
- ②9月の予定

【回覧】

- ①9/14(金) 炉辺会合の出欠

【連絡事項】

- ①来週9/7(金) 12:30～ 9月度定例理事会を開催
- ②明日、9/1(土) 地区ロータリー財団セミナーに品川会長、森下R財団委員長

以上

卓話

「会員増強について」

上田 郁生

会員増強委員長



RI2660地区の2017年7月時点の会員数は3624名で、ここ数年は毎年300人前後の入会者を迎えています。毎年ほぼ同数の退会者が出ているので、会員数は3600人前後でほぼ横ばいで推移しています。地区では会員数4000名を目指しています。これは各クラブ毎年1名純増の5年計画です。2021-22年度には各クラブ現時点より5名純増を目指しましょうという中期5ヶ年計画です。

入会促進や退会防止に各クラブどのような課題があるのでしょうか？アンケートによりますと増強での課題は、「ロータリーの知名度・認知度が不足している。」「入会のメリットの説明が難しい。」が一番多く、次に「出席義務の負担感」「例会の日数」などが挙げられています。退会防止での課題では、「魅力的なクラブづくりができていない。」続いて「声掛け、コミュニケーション不足」等が挙げられています。

退会者の在籍年数を調べると、退会者の約半数が在籍5年末満という結果が出ています。退会理由はというと、8割近くが転勤を含む仕事上の都合と健康上の都合という数字が出てくることから、入会後のコミュニケーションやフォロー親睦が大切であり、異動での退会の場合は後任者の入会を求めることが大事であると思われます。

海洋生物とフィリピンの漁村の人々の生活を 救ったロータリー歯車形の人工サンゴ礁

記事 Quincy Cahilig

増強活動で成果を挙げている活動のアンケート結果を見てみると、例会へのゲスト招待に効果があり、続いて少人数によるグループでの増強活動が挙げられています。反対に成果の出ない原因と課題は、会員の危機感の欠如、増強活動が一部の会員のみ、会員の高齢化などが挙げられています。これらを踏まえ今後の増強活動の方向を考えると、まずは魅力あるクラブ作りをする奉仕活動・親睦活動・例会全てを魅力あるものにするのが大事であると思います。次に広報活動の強化。これは各クラブの活動も大切であるが、地区やRIの広報活動やPR活動に大きな効果があると思われま。そしてクラブ運営の柔軟なルール適応。入会に対しての足かせになっている出席義務や例会日数など各クラブで柔軟に対応していく必要があるでしょう。

そして女性会員の入会促進も重要な課題であります。RI全体では女性会員の比率は22.1%ですが、日本はわずか6.4%となっています。因みにアメリカや台湾は約30%、韓国は20%の比率です。女性会員の入会は多様性確保の面でも重要であるため、女性会員の入会促進を進めていきたいです。

八尾東ロータリーも地区の流れと同様に入会者と退会者がほぼ同数で、ここ数年会員数が横ばい状態です。他クラブの意見や地区の提案などを参考にして、会員全体で増強意識を持ち、会員維持に努めながら増強にもクラブ全体、会員全員で意識を持って活動していきたいと思っています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



ラモン湾の静かな青い海。その底に、地元漁師の誇りとロータリーへの感謝を示すかのように、ロータリー歯車形の巨大な人工サンゴ礁が見えます。1990年代の終わりから2000年代のはじめ、この辺りでは大きな商業漁船によってダイナマイト、シアン化物、メッシュ網を使った漁が横行し、地元漁業が壊滅的な被害を受けていました。沿岸の村々にとって漁業は欠かせない産業であり、長年、村の漁師たちは家族を養うこの海を守るために闘ってきました。

2005年、漁師たちはアチモナン・ロータリークラブ（フィリピン、ケソン州）に助けを求めました。そこで同クラブは、米国カリフォルニア州のマデラ・ロータリークラブと手を組み、ロータリーの補助金を利用して予算100万ドル以上のプロジェクトを開始。ロータリー歯車形の人工サンゴ礁をつくりました。この人工サンゴ礁には、サンゴが育つための十分な面積と、魚たちが住むためのたくさんの奥まった空間がありました。沿岸から600メートルのところにあるこの鉄筋コンクリート製歯車は、高さ4メートル、直径21メートルで、重さは数トンあります。

今日、フィリピン最大の人工サンゴ礁とうたわれるこの歯車は、サンゴに包まれ、アジ、クロハギ、フエダイ、ハタ、ハタタテダイ、ヒラメ、コバンアジ、バットフィッシュ、バラクーダなどの魚が集まっています。数回の台風も耐え抜きました。

「サンゴ礁ができる前、一人1キログラム程度の魚しか穫れなかった」と話すのは、アチモナン・ロータリークラブのオカ・チュア元会長です。「今では1日に一人2キロぐらい穫れます」

この取り組みがもたらした恩恵は、魚の保護だけではありません。サンゴ礁のおかげで観光客が増え、村の経済もうるおいました。漁師たちは竹製のいかだを作り、ダイビングや魚の餌付けを楽しむ観光客に貸し出しています。

（フィリピンのロータリー地域雑誌に掲載された記事より）



第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY